



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月8日

上場会社名 ダイナミックマッププラットフォーム株式会社 上場取引所 東
 コード番号 336A URL <http://www.dynamic-maps.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 吉村 修一
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員 (氏名) 山田 浩司 (TEL) 03(6459)3445
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日~2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		調整後EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	1,459	—	24	—	△196	—	△223	—	△285	—
2025年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 △505百万円(—%) 2025年3月期第1四半期 —百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	△12.10	—
2025年3月期第1四半期	—	—

(注) 1. 調整後EBITDA=営業利益+減価償却費+政府補助金+M&A関連費用

2. 調整後EBITDAの算式について、2026年3月期第1四半期より、本業の収益性を示すため、M&Aに関連する一時的な費用による調整を追加しております。

3. 2025年3月期第1四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため、2025年3月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

4. 2026年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	14,126	8,453	59.7
2025年3月期	15,975	8,958	55.9

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 8,428百万円 2025年3月期 8,933百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		調整後EBITDA	
	百万円	%	百万円	%
通期	7,000	△6.2	△500	—

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 調整後EBITDA=営業利益+減価償却費+政府補助金+M&A関連費用

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年3月期1Q	23,624,850株	2025年3月期	23,624,850株
2026年3月期1Q	—株	2025年3月期	—株
2026年3月期1Q	23,624,850株	2025年3月期1Q	—株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注)2025年3月期第1四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため、2025年3月期第1四半期の期中平均株式数は記載していません。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する事項は、本資料発表日において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業的前提に関する注記)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。なお、当社は、前第1四半期連結累計期間については四半期連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期連結累計期間との比較分析は行っていません。

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、引き続き中東およびヨーロッパ地域の緊迫した情勢や、米国新政権の政策動向の不透明さに起因する景気下振れリスクが懸念される状況にありましたが、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の増加などを背景に、緩やかな回復基調が継続したものと考えられます。自動車業界においては、米国関税影響により、一部の自動車メーカーにおいて先行きに慎重な姿勢が見られました。

そのような環境下、自動運転及び先進運転支援システムに対するニーズは引き続き拡大しており、また、自動車向け以外の分野においても、国内では高齢化・人口減少問題が顕在化し、持続可能な社会の実現が求められる中で、社会・産業のデジタル化を進める取り組みが加速している状況となっております。

当社グループでは、「デジタル社会のインフラとして高精度位置情報基盤をグローバルに構築し、自動運転をはじめとする新しい未来を拓く」をパーパスとして掲げ、自動車関連及びスマートシティ等、様々な用途に向けた高精度3次元データの構築・提供を行っております。また、現実の世界をデジタル空間に複製する高精度3次元データのプラットフォームとして、様々な産業分野におけるイノベーションを支えることをミッションとして掲げ、多方面のお客様に価値あるサービスを提供できる組織体制を整え、パーパスの実現に向けた各施策を実行してまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の実績は、売上高は1,459百万円、調整後EBITDAは24百万円、営業損失は196百万円、経常損失は223百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失は285百万円となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

(i) 国内

当第1四半期連結累計期間は、オートモーティブビジネスにおいて、車載システムメーカー向けの法人ライセンス売上計上により、ライセンス型売上が拡大しました。また、3Dデータビジネスにおいては、内閣府の課題解決プログラム「BRIDGE」の2025年度研究開発事業に採択される等堅調に推移しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は376百万円、セグメント損失は123百万円となりました。

(ii) 海外

当第1四半期連結累計期間は、オートモーティブビジネスにおいて、量産車へのHDマップ搭載台数の増加によるライセンス型売上の拡大に加え、北米を中心とした新規整備事業が進捗したことにより、プロジェクト型売上についても拡大しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は1,083百万円、セグメント損失は76百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末比1,849百万円減少の14,126百万円となりました。これは主に、北米等での地図データ整備費用支払及び長期借入金の返済により、現金及び預金の減少によるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末比1,344百万円減少の5,672百万円となりました。これは主に、長期借入金の返済により、有利子負債が減少したことによるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末比505百万円減少の8,453百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、前回公表したのから変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,383	6,818
売掛金及び契約資産	3,976	3,491
その他	202	286
流動資産合計	12,562	10,596
固定資産		
有形固定資産	652	573
無形固定資産	2,644	2,842
投資その他の資産	117	113
固定資産合計	3,413	3,529
資産合計	15,975	14,126
負債の部		
流動負債		
買掛金	440	338
1年内返済予定の長期借入金	3,491	3,277
未払法人税等	10	7
契約負債	1,300	1,203
賞与引当金	87	40
役員賞与引当金	7	11
災害損失引当金	18	18
株式報酬引当金	-	10
その他	668	352
流動負債合計	6,024	5,260
固定負債		
長期借入金	750	125
その他	241	287
固定負債合計	991	412
負債合計	7,016	5,672
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,755	2,755
資本剰余金	9,567	8,398
利益剰余金	△3,642	△2,759
株主資本合計	8,680	8,394
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	253	34
その他の包括利益累計額合計	253	34
新株予約権	19	19
非支配株主持分	5	4
純資産合計	8,958	8,453
負債純資産合計	15,975	14,126

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	1,459
売上原価	1,022
売上総利益	436
販売費及び一般管理費	632
営業損失(△)	△196
営業外収益	
補助金収入	5
その他	5
営業外収益合計	10
営業外費用	
支払利息	33
その他	4
営業外費用合計	38
経常損失(△)	△223
税金等調整前四半期純損失(△)	△223
法人税、住民税及び事業税	2
法人税等調整額	60
法人税等合計	63
四半期純損失(△)	△286
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△285

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純損失(△)	△286
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	△219
その他の包括利益合計	△219
四半期包括利益	△505
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△505
非支配株主に係る四半期包括利益	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内	海外			
売上高					
外部顧客への売上高	376	1,083	1,459	-	1,459
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	27	27	△27	-
計	376	1,110	1,486	△27	1,459
セグメント損失(△)	△123	△76	△199	3	△196

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

資本準備金の額の減少並びに剰余金の処分

当社は、2025年5月26日開催の取締役会において、資本準備金の額の減少並びに剰余金の処分について決議を行い、同日付で資本準備金を1,168百万円減少させ、その全額をその他資本剰余金に振り替えております。また、同日付で当該その他資本剰余金1,168百万円を繰越利益剰余金に振り替え、欠損填補を実施しております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	213百万円